

年月日	時間	大臣名 (党名)	要望内容 【大臣コメント】
平成18年11月21日		冬柴鐵三 (公明)	<ul style="list-style-type: none"> ・外環の早期事業着手に向け、国土開発幹線自動車道建設会議を速やかに開催し、外環の位置付けを「基本計画路線」さらには「整備計画路線」へと格上げすること
平成19年7月3日	17時～	冬柴鐵三 (公明)	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに国土開発幹線自動車道建設会議に付議し、建設を開始すべき路線として基本計画路線及び整備計画路線に位置付けること。 ・現在策定中の中期計画に位置付けること。 ・都市計画決定を踏まえ、速やかに事業化し、早期完成を図ること。 ・整備にあたり、沿線地域の環境保全に配慮するとともに、まちづくりや道路整備に対し最大限の支援を図ること。 <p>【大臣コメント】 「東京のためだけの道路でなく、大事なものであることは十分認識しています。きちんと段階を踏んで手続を進めていきます。」</p>
平成20年6月27日	14時30分～	冬柴鐵三 (公明)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間5年の新たな道路整備計画に位置付け、整備財源の総枠を確保すること。 ・速やかに国土開発幹線自動車道建設会議に付議し、建設を開始すべき路線として整備計画路線に位置付けること。 ・平成21年度の事業着手に必要な予算措置及び執行体制の整備を確実に実行すること。 <p>【大臣コメント】 「ご要望は承りました。コストはかかりますが、外環の必要性は十分理解しています。」</p>
平成20年8月26日	16時～	谷垣禎一 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> ・期間を5年とする新たな道路整備の計画に位置付け、整備財源の総枠を確保すること。 ・国土開発幹線自動車道建設会議を開催し、整備計画を定めること。 ・平成21年度事業着手に必要な事業予算及び執行体制を確保すること。 <p>【大臣コメント】 「この秋以降、道路事業の再評価を行うこととなっているが、東京の渋滞解消、我が国の国際競争力向上のために、外環整備が重要であることは十分承知している。」</p>
平成20年10月10日	10時45分～	金子一義 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> ・期間を5年とする新たな道路整備の計画に「必要な道路」と位置づけ、道路整備財源の総枠を確保すること。 ・国土開発幹線自動車道建設会議を早急に開催し、整備計画を定めること。 ・平成21年度事業着手に必要な事業予算及び執行体制を確保すること。 ・整備にあたっては、周辺まちづくりや関連道路の整備など、沿線の地元自治体の要望に十分配慮すること。 <p>【大臣コメント】 「都会も地方も道路は必要。できるだけ早く国幹会議（国土開発幹線自動車道建設会議）を開催し、外環整備を進めていきたい。」</p>
平成23年9月20日	15時45分～	前田武志 (民主)	<ul style="list-style-type: none"> ・平時だけでなく災害時においても首都機能を堅持するため、我が国の防災力を高めるための第三次補正予算において、外環に対し、十分な追加予算を措置すること。 ・外環の積極的な用地取得及びトンネル発進立坑工事など本格的な工事着工に向けた事業費を平成二十四年度概算要求に盛り込むこと。
			<p>この間、民主党政権のため、役員3役のみで要望活動をしました。 従って、三宅しげきは参加していません。</p>
平成25年2月12日	17時～	太田昭宏 (公明)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都が招致している夏季オリンピックの開催に間に合うよう二〇二〇年早期の供用開始に向け、平成二十五年度予算を確実に確保すること。 ・外環の環状道路としての機能を発揮するため、東名高速から湾岸道路までの区間について、早期に計画の具体化を図ること。とりわけ、東名高速から第三京浜までの区間の早期整備を図ること。
平成25年7月30日	10時30分～	梶山弘志副大臣 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都が招致している夏季オリンピック・パラリンピックの開催に間に合うよう二〇二〇年早期の供用開始に向け、平成二十六年予算を確実に確保すること。 ・外環の環状道路としての機能を発揮するため、東名高速から湾岸道路までの区間について、早期に計画の具体化を図ること。とりわけ、東名高速から第三京浜までの区間の早期整備を図ること。